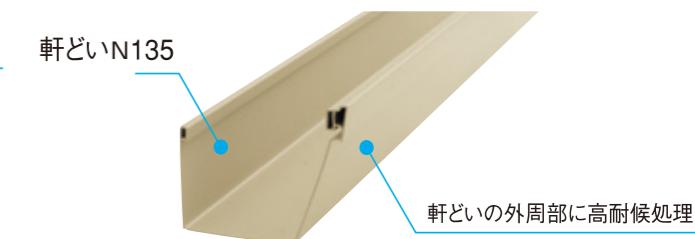




軒どいはデザイン性を重視。建物との一体感を高めます。

紫外線の影響を抑える高耐候処理。

紫外線による退色や変色を防ぐため、軒どいには高耐候処理を施し、接続部品にも高耐候樹脂を使用しました。

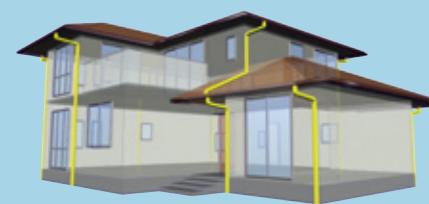


軒どいカラーバリエーション



Before

屋根負担面積や最大離隔距離を確保するには、一般的な45坪程度の住まいでもこの程度の数のたてどいが必要です。



比べてください、排水能力の差。

たてどいと雨水ますを削減することが可能になったのは、「屋根負担面積」と「最大離隔距離」を増大することができたから。
従来の雨どいと「サイホン雨どいシステム」には、明らかな能力の違いが存在します。

屋根負担面積

「サイホン雨どいシステム」では、従来を大幅に上回る50~60m²を確保しています。



●降雨強度別屋根負担面積(m²)

品種	降雨強度			
	100mm/h	120mm/h	140mm/h	160mm/h
サイホン雨どいシステム	80	66	57	50

※1/1000勾配で算出

最大離隔距離

「サイホン雨どいシステム」は片側だけで15m。従来の3倍以上に達する能力です。

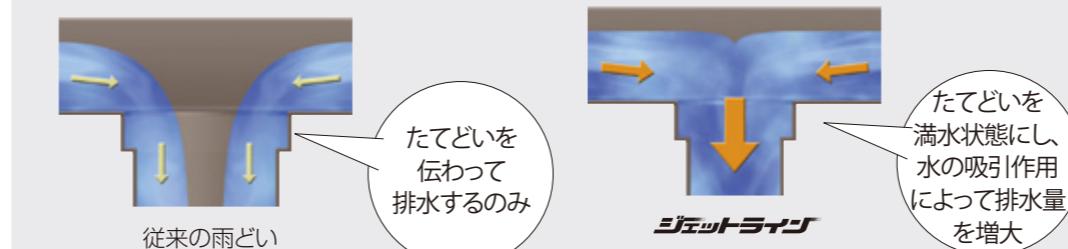


たてどいはスリムな40mm×40mm角型。外観をすっきりと演出します。

たてどいカラーバリエーション



「サイホン現象」とは



「サイホン現象」とは、たてどい内部を満水状態にすることで吸引作用を発生させること。水が塊となって勢いよく落下するため、飛躍的に排水量が増大します。浴槽の排水などで起こるこの現象を応用しました。

落ち葉やゴミ詰まり対策も、
ドレンキャップの新規開発で強化しました。

「ジェットライン」用に格子を細かくし、背を高くした大型ドレンキャップを開発。ゴミ詰まりの対策を強化し、スムーズな排水を確保しました。

